



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生ほどのように心の強さをもちましたが、  
 私は生々しい表現がどうにも分かりず、最近見たエボラ出血熱の画像のような感じなのかもとどう文ました。でも、  
 このお話しは味が悪く原爆先生のようにしゃべることは多分、  
 できません。また想像が実際には原爆博物館と同じ  
 じょう存もので「きれいすぎる」をおっしゃっていたので「あめ  
 だめだ」とただただ「自分の弱さやこれが「弱さ」なのだ」と  
 思いました。私の想像の限りの臭では本当の臭さの  
 100 だろうし分かりません。「肌がくずれる」という言葉では  
 分からないと思います。原爆博物館の記ろくでは「実  
 感がわかんないけれど戦争映画を見に行くと死んだの  
 が一人のストーリーが細かく作られていてその一人一人が  
 戦争のせいで死んでしまったのかと思うと教ではなく人生  
 を見なければならなくて改めて言葉の弱さも感じました。  
 でも「戦争をしてはいけない」ということが分かりました。ページ  
 の「感想」のボタンで他の学校のことを見させてもらったの  
 で「ある意味面白いな」と思っていました。原爆先生  
 はどう思われますか、私はどうすれば全ての人類が平和に  
 なるのか分かんないです。講義して頂いてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

自分は今まで、原爆の事については曖昧なイメージし  
がありませんでしたが、今日の話を聞いて、  
原爆の事についてより深く知れたと思います。

特に詳しく学べたのは、原爆による被害の事で、  
今までには、原爆の被害についてほぼ台と知らなくて  
ただ「被害が広島で出た」と言うことしか知りません  
でしたが、話を聞いた事で核攻撃を受けた  
後の広島がどんな様子だったのか、  
被害を受けた市民はどうなっていたのかなどが  
学べました。その他にも原爆の投下候補に当たった  
別の町の事や、原爆雲がどうして出来たのか、  
原爆を投下した爆撃機の名前の由来まで詳しく  
説明してくれました。中でも、実際に原爆が  
投下された時に兵隊だった方の話を詳しく  
聞かせてくれて、当時の兵隊の人がどんな  
心境でどんな事をしていったのかなどが学べ  
ました。これらの事を知った事で、核攻撃の事を  
改めてよく理解する事が出来ました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆資料館にはいらたので、多少は原爆の  
 ことについて知っていたつもりだったが、しかし、原  
 爆がおちてどのようなことがおこったのかし  
 かりが今日話してもらった下り死体のこと  
 實際にうけたときのことについては知ら  
 なかった。なので勉強になった。原爆が14分  
 を死んで11分と生きておこっていた。一目で死  
 人が人は、痛みや心を感じることもなく死ね  
 たらいい人が、死んで11分がずっと痛く、  
 そのうち死ぬしかない人はとてかわいそうだ  
 と思った。原爆は初めの熱線や衝撃波だけ  
 ではなく、放射線もそれによっておこる  
 原爆症など、終わらないとて長いあ  
 りが、苦しめるところが、あつた  
 しいと思、た。原爆をつかうと、多くの人を  
 苦しめることになるので、原爆が、戦争  
 などはもうしないようにしていきなさい。  
 この原爆によるおそろしさや、おそろしい  
 同じことがおこらないようにしていきなさい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゆこ

表

まず原爆と戦争の凄惨さをものすごく感じました。ぼくは映像や音声を見たり聞いただけでまだほんとうにその時実際に原爆を受けた見た人の気持ちや完全に理解できるとは思ってません。しかも今まで社会の授業での戦争のお話や今のウクライナ戦争くらい身近に感じてはいませんでした。ですがこの授業で戦争は身近なところにある。ほんとうにちよとしたま。かりに今おこる可能性があるとおわかりこわかったです。これからはほんとうに戦争がなくなるとほしいと思います。だって勝手に自分の国と相手の国がけんかして男小生は戦いにいれとか国民を不幸にしてるだけだと思っからです。この授業を受け戦争の苦しみや全部分かったわけではありせん。だって体験してないんです。ですがちよとほんとうに数パーセントなら戦争の苦しみが戦った人の大変さが分かったと思います。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講してたくさんの方がきせいになりとても悲しくなりました。またどうすればこの戦争をなくできるのかを考えました。日本が戦争をしかけたアジアを進出しなければこの戦争はおこらなかったんじゃないか、たのかと思います。また話をきき原爆を体験した人の気持ちがよく伝わってきました。助けようとしても助けられなかった命がたくさんあったと思います。また戦争はどんな理由があってもせたいにはいけない) と思います。またなぜ昔の人は戦争をするのでしょうか。戦争をしたたくさんの方の命をきせいにすれば問題は解決するわけではないと思います。ちゃんと話し合、てちがう解決方法を見つければよかったんじゃないか) と思います。もう二度と戦争でたくさんの方がきせいにな、てはいけない) と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は、一瞬で人をふきとばす力があるということ  
は前から知っていました。しかし外側の  
温度が太陽よりも1000度高いといふことを  
知って原爆のおそろしさを知りました。東京スカイツ  
リーの高さに太陽があるということを考えて  
みただけでも鳥はだかたちました。原爆の  
目標地が最初、京都が一番良いと思われていた  
のだが、昔からの文化が多くあるということも  
より、目標地から除外されたということを知  
り初めて知りました。また、よしぞうさんの  
体験記から、自分が爆撃を受けたとき、苦しみな  
がら死んでいってほうということは何とも辛  
い思い、そのような人を救いたくても救うこと  
ができなかったよしぞうも本当に辛かった  
と思います。それ、何時たぐしのいたぐの根はよう  
気持ちは持ち方はたぐいと思われました。私は  
この授業を通して、日本人の日常の大切さ  
を改めて感じるきっかけとなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆といったらなぜそんなことをしてしまったのか、ということよりは、それによって起こってしまったことを考える必要がある、と思った。原爆で起こったことは、悲しい、つらいことだとはよく言われる。しかし、そんな言葉だけで次いっけつごうとされるのではなく、被爆者の身になって聞けることが大切だと感じた。原爆先生が原爆が落とされたときのことをやってくれた。それは、本物の原爆が落とされたときとま、たく同じではないかもしれないが、原爆が落ちてくる時の間は、心臓がドキドキしてばかりだった。本当は、そんな感じではないかもしれないが少しでも戦争のおそろしさを知、てもらうべきだと思った。戦争をすることは悪いことだと言は言う。しかし、言うことだけだ、たが誰にでもでき、受け入れるか、入れないか、それは自分で決められる。そのようなことにしないために原爆先生がいるのだと感じた。私は、少しでも原爆のことを知れたかもしれない。今日、感じたことを大切にしたい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は、今となれば私たちには関係が無いし、  
原爆という存在も知っている程度で良いと思って  
いた。だが原爆先生の特別授業を受講して、  
今も原爆の後遺症によって苦しんでいる人がた  
くさんいると知り、今も原爆とは考えなければならぬ  
出来事だと感じた。また、ウクライナでの戦争が起  
こっている世の中で、日本もそれに巻き込まれるかも  
しれない。そんな時に第二次世界大戦で日本が  
受けた原爆という悲惨な出来事を通して、戦  
争を行った末に人がどれだけ苦しむのかということ  
を思い出すと、日本が戦争をしない事につながる  
と思う。そのためにも原爆の被害に目をそらさずに、  
その事実を深く受けとめるべきだ。私はこれから原爆  
についても、と調べたり、原爆の被害にあつた場所  
に行ってみたりして原爆を知るようにしたいと思  
う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今まで、授業などで戦争や原爆についての本を言売んだことはあるけれど、実際にそれを体験している兵隊さんの話を聞くと感じが全然違いました。本とかで読んだ時は昔の話、異世界の話みたいな境界線があったんですけど、今日は自分だ。たら...と考える色々な立場の人が辛かったし、苦しかったんだろうなと思いました。初め、タイトルの「7000歳の少年」というのを聞いてよく分からなかったのですが、意味にっながる話が想像を絶するほどで、戦争の悲惨さをより強く実感させられました。また、原爆の被害や落とされるまでの流れ、キノコ雲についても分かりやすく説明していただいたので勉強になりました。ありきたりなことだけど、戦争はたくさんの人々の幸せも未来もうばってしまうものだから、これからは絶対にしてはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、これまでそれぞれ戦争の本を  
読んだりするに当たっては、今日の話し  
ほど生々しいのは聞いた事もなく  
読んでもありませんでした。でも、水  
が事実だと分かって、あらためて  
原爆の恐ろしさが分かったと思っ  
たのですが、そのあとに言葉じゃ表現  
しきれないという聞いて、原爆の本物  
怖さは実際に体験したりその  
惨状を目の当たりにした人じゃな  
いと分らないのかなと思いま  
した。けれど、ぼくらもその恐ろし  
さを最大限理解して伝えていか  
なければ「原爆は無くなるな  
い」のかなと思いました。これから  
も原爆や戦争について学んで  
いこうと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、本で続々と授業を聞いて来ましたが戦争の事は矢口、っていたけどこの授業で実際の映像を見たり話を聞いたり本で続々と聞いて来たりしても体馬余した人しか分からないんだなと思ひました。防火用水の桶はコンクリートで出来ているのに水が半分も減っているくらい熱いという事は熱水に飛んでいるのと同じと考えるとゾッとしました。衝撃波が秒速400mという事は一瞬で家がこわれてしまふし熱線もすごい速さだと思ひかけた。今話している人が気がつくで死んでいると考えるとすごくこわいなと思ひました。原爆で真空地帯が出来るといふすごい衝撃でくもが一番上まで行ってたと思ひました。被爆者の人形を見てきれすぎるといふのに人形もリアルにさげんされてると思ひました。きれすぎるといふのをきいて実際はもっと大変だったんだなと思ひました。原爆先生の話を聞いて授業を受ける前は戦争や原爆の知れしきが増えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆をただ爆弾が落とされただけ  
 けし思っていたけど今日の話を聞いて  
 大七カサと小布サカがわかりました。これを實際  
 に体験した人がいるという事はものすごく  
 つらくて忘るる本がわかると思いました。原爆は  
 本当に怖いしもう二度とおきほしくないと  
 心から思いました。でも原爆を投下すれ  
 ても人は必死に生きようとして動いて  
 すごいと思いました。ぼくもどんな状況でも  
 助け合いの心を忘れないようにしようと思  
 いました。そしてぼくは京都はみやまなど  
 があるから日本人の心を煮えて投下するのやめ  
 たと聞いてぼくはたたら広島や長崎に  
 も大七カサものかたど人があるから落とせばいい  
 のにと言いました。ぼくは体験してないから  
 分からないけどすごく大変だったんだって  
 伝えてきました。話を聞いて事に気がたです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の言葉が、私に大きな力を与えてくれた。原爆  
 けしき人だとかも、私に大きな力を与えてくれた。原爆  
 を現世でもって、私に大きな力を与えてくれた。原爆  
 国一アを、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 しに伊さんと人の心があるとはおもえない。  
 1000と、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 れると、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 け、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 波が、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 300原爆をおど、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 いた人が原爆をおど、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど  
 ぎ、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力  
 が、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力  
 も、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力  
 原爆をおど、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力  
 として、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力  
 原爆をおど、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力  
 かに、私に大きな力を与えてくれた。原爆をおど、私に大きな力



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は第二次世界大戦がとても悲惨だったとは知っていたけれど、原爆の事について調べようと思ったりしたことがありませんでした。しかし、今日の話を聞いて調べてみようと思ったし、印象に残っているお話がいくつかあります。一番印象に残っているお話は「やけど」の事です。それもただの「やけど」ではなく皮膚がはがれおちてしまうような「やけど」だったからです。「助けて...」と言ってくる人々を助けようとして手を差し出した時に、皮膚がはがれおちてしまい助けられなかったという話を聞いて想像するだけで恐ろしいのに、実際に体験していた人々はどのような気持ちだっただろうと思いました。

また、戦争がおわった後も、後遺症に苦しんでいる人が今もたくさんいると聞いた時戦争は昔の出来事だと思っていたけれどそうではない。思ったよりも身近にあると思いました。さらに、原子爆弾がおとされた時、太陽がスカイツリーくらいの高さに接近してきたような感じで太陽よりも高い温度だったと聞き驚きました。今回原爆先生のお話を聞き、戦争がいかによってはいけない事か、恐ろしい事かが分かりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

被爆した人達が手を前にたらしめて歩く理由が「やけどをしたわきかき」に「すれていた」からだとは思わぬ、皮膚が重なってやけどをいにくく、わきもやけどをするほどの力だったのだとおどろいた。原爆の表面温度の7000℃が太陽よりも熱いのだと知って、太陽よりも熱い大きな物体が頭上600mにおちたら、すぐに焼け死んで炭になってしまうのにも納得ができた。

原爆を落としたアメリカ側の兵隊ですら、おどろいて、恐怖を覚えるのだから、落下地点付近にいた人々の恐怖はどれほどのものだったのか想像ができませんでした。

思い出すだけで涙がこみ上げてくるような記憶は忘れたくても忘れられないと思うので、自分だったら日常生活も送れないのではないかと思えた。何度も病気になるのも辛いけれど、病気の原因が分からず、治ってもすぐに別の病気にかかるとしては生きる希望もなくなってしまうのではないかと思えた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

自分で知っていることは、本とかで言売んだつ  
としかなかったけれど今日のことではい  
ろいろなことを知った。自分は、原子爆  
弾もどこにでも落ちていいと思ってい  
たけれど、ちゃんと決まりがあるなんて  
知らなかった。そのリトルボーイが96  
32mから時速300kmで落ちてくるな  
んてだれも思おないからそれに、逃げよ  
うにも逃げられぬいからとておど  
わい。被爆者が24万人もいて、道  
ばたにグロソグロソいるって思いうかべたた  
けでも、こわいのに、その時いた人は、よりこわいんだ  
と思いました。太陽より熱い球体  
が落ちてきて、それに衝撃波をくる。て  
逃げようにもないからこわいと思いまし  
た。広島、長崎の人たちは、原子爆弾  
から逃げるのに、必死だっただろう  
なと思う。なんのために原子爆弾を  
作ってまでして、戦争をしたかと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日原爆の話を聞いて政めとおそろしいことだと思いました。リトルホイという原爆は、中心部の温度が100万℃で、外周が7000℃で太陽よりも1000℃近くあついときこびくりました。急に太陽が東京スカイツリーぐらいの高さにあると想像するところおいです。そして、その爆発の衝撃波の速さが毎秒4400m(音速は340m/s)という速さで地上にいた人を一瞬でおつかし、灰、あるいは骨にしておこす。しかも、直径5kmを超える大爆発で全身やけどしている人たちが兵たいさん且かたと言ってきたりおおいと思おつ。トラックの荷台にのせようとするにもうでのかわがはがれてしまふし、全員をのせようするとやけどの部分かこすれたいいと泣きさげんているすがたを見なければいけないかもしれぬから、自分もつらいと思おし、大変だと思おしました。こういうことから、日本は、戦争をしないで平和でいることの大切さを学んだのだと思おします。ぼくも、原爆先生の話を聞いて政めて戦争のおそろしさが分かりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆という戦争というものをあまり見て  
 きました。小さな事のはたからがどんどん大きくなり戦争、大勢の人が  
 まきこまれ、武器を持たされ、たたかわれている様子。どんどん人  
 が亡くなっていく。そのような地獄よりもひどい<sup>ひどい</sup>絶望の世界  
 が本当にあったのか、本当に同じ日本だったのかどうかがうたがってしま  
 いますが、よしぞうさんの目にはなみた<sup>なみた</sup>がうたがひ、むしろ語るにしろが  
 本当にあった。本当につらい、つらいでおそろしいような思いが伝わってき  
 ました。  
 私は、よしぞうさんが広島市の資料館を父とおとすれた時の話  
 で、父がおとすれた人を再び見た人形をみて、「きれいだな」とい  
 ったところをぞうとしました。私はその人形を見たおかげで自分なりにうた  
 がうけました。この人形はどなたのか、おとすれた人形は、本当に情  
 けな人形を見た、それでもまた「きれい」と思えるほどはきれい<sup>きれい</sup>な  
 人形かと思いました。

私は本当にこの時代に生きていて良かったと思います。  
 そして、また同じことをくりかえさないよう、努力していきたいと思  
 います。  
 今でも、ロシアとウクライナの戦争が絶つていなくて、他人事として  
 自分からはおとすれた人形をせめておとす行期していきな<sup>い</sup>と思  
 います。  
 それにこの日本の原爆の話も今たがひこそ、色々な人々  
 未来の人達につたげていかな<sup>い</sup>と思いました。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆は人間の笑顔をうばうものであり、戦争は二度と起こしてはいけないうることを改めて感じました。

よしぞうさんの物語を知った時、広島に住んでいる人との輪が感じられました。兵隊さんの助けたいという熱い思いと、住民の広島を守りたいという思いを受け取って感動しました。原爆が投下されてもくじけずに最後まで助け合っている広島の人々は戦争に勝つこと以上に素晴らしい「助け合い」が生まれたのではないかと考えました。私は助け合いの大切さを学びました。知らない人でも困っている人なら助けるといふ意志を持ちたいと思いたからです。身近の人にも原爆のおそろしさを信じて二度と戦争を起こさないことを目指し、考えを深め合いたいと思います。平和で落ちついた生活ができるのは当たり前だと思っていました。しかし、平和というのはとてもありがたく、かけがえのない存在でありたいと学びました。今日からは生きる喜び、平和のありがたさを心にとどめて生活しようと思いたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日、原爆先生のお話を聞いて、前々  
 原爆は危険だと思、ていたけれど、  
 話を聞、て、4枚もの爆弾を時速300km/h  
 のスピードでしかも、太陽よりもあつ  
 いものが日本に落ちていったなんど  
 とあせんとるり、しかも、1秒前までそこ  
 いた人が一瞬でそこから消えるなんどと  
 ア=Xのようなことがあるのはもどきでした。  
 3枚、原爆が落ちたあとの人間が人間じゃ  
 ないような、軀はクワダラとどけ、体の中  
 から、うみがあられ、うじ虫が中に入  
 るとなど、もう、人間じゃなくなるとも  
 などの話を聞いてるとても、こわく  
 なり、本当に、心から絶対に  
 戦争と原子爆弾だけはもう  
 何があ、てもダメだと思、いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、これまで「原爆」の本や戦争の小説などを読んでいたことがあって、そのたびに感じる背ぞり感があるような言葉にできなかった思いを感じてきました。でも、私の知るあの思いは、いわば市民の方の経験がつづられた本から得たものでありました。今回のお話の主人公は軍人でした。完全な被害者ではない軍人です。たしかに、軍人は戦争の最前線で人を殺します。私には、そのイメージしかありません。思い返してみると、とてもはずかしいです。軍人は味方や自国民を救うことを使命とし、人を殺すためにある存在ではないことが今日で痛いほどよく分かりました。その証に、「軍人、おしろ」は、広島を救いたくても救えなかった一人の命の前に泣いていました。では、いったい誰が悪いのか。軍人ではないなら、その軍人を指さす一部の人が、加害者なのか。だとしたら、加害者たちには人の心はないのか。いいえ、きっとそんなことはない。実際、チバット大佐は、戦いの勝敗を決め、自身の行く末の分岐点になるであろう大切な一発の爆弾に、母の名をつけました。自分よりも大きな存在に化かればよいとするのは人の弱さと同じです。私は、そう思います。戦争に加害者はいない。と。戦争をすれば、誰もが人の心を痛めます。それはもう、傷ついています。戦争の原因は悪ではない。戦争、なのではないでしょうが、全人類が「誤ち」をくり返した結果は互いに傷つけあつた地獄だった。だから責められながら、戦争はおそろしい。だから人間は弱くて、誰かのせいにして、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

みんな生き物だから。戦争をしないように、それは、「人間」をやめることだ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの授業を受ける前、原爆は100年近く前に落とされたものだから今さら学ぶ必要はない、そう思っていました。しかしこの授業を受けたことで、原爆のことは日本人に限らず、世界に在る全ての存在が学ぶなければいけないことなのではないかと考えるようになりました。私が番心に残ったことは、広島に住んでいる人の70%が被爆しているということです。私は小学5年生のころちよとしたやけどをしたことがありました。その時でさえ、とても痛かったのに、被爆者はその何十倍も、何百倍も痛にきず、やけどを負い、何日間もたえしのんでいたことを考えると、とても胸が痛みました。原爆先生のお話を聞いてからというもの、原爆という言葉を知ったときの感情が軽いものから、悲しいものになっていったような気がしました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆とは、攻撃を受けて一死にかけてしか被害が出ないと思、ていました。しかし、特別授業を受講したことで、生か残ることかできて、後遺症として人口に影響<sup>多量</sup>を与えるということを知り、原爆はとても悲しいものであり、このことは、日本の人々だけでなく全世界の人々が知るべきものであると感じました。私の母の祖父も、広島<sup>の</sup>原爆により、亡くなられた方々の遺体の処理を行なってくれました。母によると母の祖父は原爆の被害にあり、被爆者だ、と云っています。原爆は、被災地から隔離されているからといって、無関係だ、ということはないと知りました。また、今は原爆ドームと言われている広島県産業奨励館は負の遺産としてよく知られています。被爆前と比較してみると、骨組みだけ（たかお）原爆は強か、と知りました。原子雲はきのこのおなごで白や灰色の雲だと思、ていました。しかし、実際には赤紫黒などの普通の雲と全く違う、不気味な雲だ、と学ば、驚か、ました。唯一の被爆国である日本だから、その分怖さを聞か、ておか、たと思、います。現在、非核三原則というものがありますが、お話を聞か、たことで改めて、この三原則を、作、た理由を感じることができました。地球の地上から600m付近に、太陽より温度が高い球体か、ておか、たすると、人々は何も考えるか、まなく死んでしまうと思、い、悲しくなりました。これからは、平和の大切さを忘れず、過ごしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島に原爆が落とされじん大な被害が出たことその死者数は想像を絶するほどだということ、そしてその被害は後い症として残り今も苦しんでいる人がいるということとは本などを読んだことがあったので、知っていましたけれど、今回のお話を聞いて自分が知っていたことは、本当にごくわずかであり、その悲しさは、はかり知れない、当時のいたみも、悲しみも苦しみも何も分かっていなかった、けど体馬僉しないと全部は分からないでも原爆の大変さや怖さからお話を聞いてとても良く分かりました。お話のしかたがとても上手だったので、当時の様子もとても細かく分かり、人間はこうなることもあるんだと、本当にアメリカが開発した原子爆弾はおそろしいもので、世界をこわす兵器なんだと、心から思いました。

今回の授業を聞いて今までよりは少しは知ることができたけれど、理解がさらに深まりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、原爆先生のお話しを聞いて、たくさんの方を知り、色々なことを考えました。第二次世界大戦という戦争があたえたものは土地をこわすというだけでなく、人々から今まであった幸せをうばうことだと思えます。実際には兵隊になって、原爆の被爆者の遺体をはこぶときの感覚や、助けを求められたときの気持ち、話を聞くだけではやはり計り知れない、原爆を目の当たりにした人たちが何を思ったのかも、考えるだけだと分からないことだらけです。けれど、きっと生きること必死だったんだと思います。また、原爆先生の原爆投下を見た声がか現場を想像できて、自分がその場にいるような感覚になり、おそろしくなりました。このことが、戦争があたえるのは人の恐怖という感情だと思えます。さらには原子爆弾という兵器を使って、さらに奥深くに一生忘れない感情を植え付けるのだと思います。

そして今日の授業が一番心に残ったことは、義三さん(17)がけがをしたお姉さんを助けたことです。自分か、と捕まえた、帰れるというとき、けがをしている人を助けてあげたことが大変な作業をたくさんやるというときに、おとろきました。もし私だ、たら手当てをしても、きっと時間がかけて、とりぬかざることをあなた、たんに、ないかと思えます。戦争があたえたのは、いいことは「かりて」はなけ、あんな人のやさしさ、分かる場所なのではた、いかに思えます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆は一つだけでもたくさんの人々を苦しめる凄惨な兵器であつてどのような戦争であつても絶対に原爆だけは使つてはいけないと分かつた。原爆のおそろしさや危険さなどを後世に伝えていくために原爆ドームなどが残されているものの、実際の原爆はそのようなものでは伝えきれないほど残酷なものであるんだなと思つた。戦争では原爆の様な悲惨な兵器がたくさん使われ、日本だけでなく世界中の人が苦しめられたと知り、戦争はやめてはいけないとしてあり、平和の問題を解決することが大切だと考へた。原爆での防空用水の中に入つた死体や蒸発した川などの悲惨な光景を世界で二度と起こさないためにも原爆の残酷さなどを世界中に伝えていくことが大切だと気づくことかできた。原爆とは5人の内2人が亡くなるような危険な兵器であり、戦争が終つた後も原爆症などの病気で人々を苦しめ続けるものだとわかつた。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/24

以前、戦争についての本をいくつか読んで、情報を知ったつもりで  
いたけれど、今日、目で見るだけでなく、原爆先生の口から話をきくことができ、  
少しでも原爆、命について深く考え、自分の中で体感することが  
できたと思います。もちろん被爆者が目にしてきたこと、感じとったことは  
その人しかわからないけれど、そこに近づいてみられたと思います。  
地面にはね返ってきた爆弾のしほうずき、太陽の温度よりもあつい  
熱線、一瞬にしてかわりかた人、情景を想像すると恐怖  
でしかありません。それ、それを目のあたりにした人がいかに辛い  
はずであり、言葉にあらわすことのできない感情も伝わりゆく瞬間の  
心がとても痛んでいきます。しかし、それでも理解できない、故心はうと  
しい人が世界にはいて、様々な世の中が実現されていはい……。  
では、今の私には何ができるのかを考えてしまいます。そんな時、  
今回の授業のおかげに、一人でも多くの人に自分の気づいたこと、感じとった  
ことを伝えるというのが第一歩かなと思います。  
実案のときのおおな脅威をそのまま実感することはできないけれど、  
そこに近づいてみて、それが多くの人に連鎖していく……。  
理解をしていく姿勢が重要であると考えます。そのために、まずは  
今日の話を家族や友だちに話すことから始めていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

とても考えさせられるお話だったと思います。  
私はこれまで、広島や長崎に原爆がおとされたことが  
あり、とてもひどい被害だったという事実しか知っていなが  
たので、実際に原爆の話を知ると、想像できないくらい  
のしょうきょうだったんだなと思いました。

また、日本におとされた原子爆弾がアメリカは実験だった  
ということや、候補になった都市の中に祖父母の実家も  
あったので私が生まれていなかった可能性もあるんだ  
なとおどろきました。

また、衝撃波の速さや、熱線の温度など、具体的な  
数値を出し、それと比べる数値を出しているのが  
わかりやすかったです。

きのこ雲ができた理由が一つ一つ説明されていたので  
理解しやすかったです。

放射線のごとはあまり深く説明されなかったの  
ですが、放射線のごとが気になりました。

次に戦争などおきないように、私たちが知識を  
みにつけ、考えをしっかりとつのが大切なのでは  
ないかと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の授業を受けて、  
二度と原爆を使わせないようにすること  
が大事だと確信しました。なぜ  
かというと、前から原爆の恐ろし  
さは多少知っていたけれど、こんなに  
長く、くわしく教えてもらったのは初  
めてだし、原爆を体験した人の  
実話だったからです。とくに心にのこった  
のは、義三が60年後に記念館に  
行ったときの「悔さけむる」という言葉です。  
その言葉を聞いて、被爆者の苦しみ  
や辛さが伝わってきて、原爆という  
物のこわさが一番伝わりました。  
今ウクライナとロシアが戦争して  
いるように、近年の戦争には  
染色剤に、原爆を使用してほしく  
ないと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、戦争が、  
とてもおそろしいともう一度思いました。  
なぜなら、義三さんがトラックで、移動している  
時に、「助けて…」と言っている人がたくさんいる  
と言っていて、原爆の被害者はたくさんい  
るんだと感じたからです。あと、広島の人口の  
約40%の人が亡くなったと言っていて、亡く  
なくても、重症を負った人が広島や長崎に  
たくさんいるから、とてもおそろしいと思  
いました。そして、義三さんたちが、山積み  
になるほどの死体を運んでいたと言ってい  
て、うらそうだと思いました。なぜなら、知ら  
ない人の死体を勝手に焼くのは自分だ、  
たら、気持ち的にうらいからです。あと、毎日、太  
陽が照りつけてくると言っていて、人を暑  
い中、背負って運ぶのは絶対につかれる  
のにその作業を、9日間やり続けていた  
からです。さらに自分はただ太陽がすごい  
照りつけていたら、歩くだけでつかるからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業では、先生の話ししてくる内容の方は、実際の体験者の義三さんだ話さうかがったと聞き、むしろ音の方でも話すのがつらいことがあるのにくわしく話されていとおどろきました。また義三さんの息子さんが「先生だ」ということを最後の時に話していとおどろきました。今まで、原爆でたくさんの方がお七くなりになったことや、14万人の方が亡くなったことなどを聞いてもきっと「原爆、このはこわいんだな」というな人となりの、のほほんとしたことしかイメージできなかつたと思います。ですが今回義三さんの実体験をふくめたものを聞き、個人的に戦争はこわいものだとわかりました。最後の重カ画で義三さんは、体験したことば、妙話だとおりのままが伝わらないと言っていて二人かしのまじでも身ぶるいしたのに本当はもと、おそろしいんだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/24

授業の始めからリアルなところが喜ば  
たくさんのエピソードが入っており、いかに  
原爆がおそろしく、あぶないものなのか  
ということとてもよく感じました。話の中の  
生々しい現実はやはり目の前で聞してい  
るこそこのリアル感なども感じ、原爆  
の悲々な事実をおすれてはいけな  
いのだというこの取り組みはたいへん感じ  
ました。1945年8月6日からの出来事と  
とてもくわしく、そして体験談を聞く  
ということは始めての体験会だったの  
ですが、今までのぼくの想像をせざる  
ようなことばかりで、とてもおどろきました。  
原爆によって一人にして広島、長崎の  
多くの人がとくなされた、ということは  
知っていましたが、具体的なエピソードを  
聞き、とてもこわくなってきました。  
貴重な体験談をお話していただき、  
ありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/24

ほくが原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、改めて「世界が平和なことがいちばん良い」ということです。

原爆先生の説明や、実際なぜそうなるのかなどのくわしい説明もあり、原子爆弾はもう世界に投下されてほしくないという気持ちが強くなって来ました。

原爆先生の説明で印象に残った部分は、原子爆弾の大きくなるつのいりやくです。また、音より衝撃波のほうが早いということを知り、とてもびっくりしました。そして、原子爆弾を投下したアメリカにむきいという気持ちが出てきました。アメリカがここまでしつかりと考え、しなうに物事を進めて原子爆弾投下を成功させることを「あごいせい」と思ったりおどろいたりしました。最後に思ったことは、原爆先生(とよしづう坊)のおかげで「平和について考える良い

時間になったなということ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して最初に  
 思った事や感じた事は話の内容がグロオスな事  
 事です。理由はこの話を聞く前は原爆がそん  
 なにあそろしくないと思っていたけど今日話を聞いて  
 すごく鳥はたがたちました。原爆先生が普通に  
 全身がやけどしてひらひらとあちるとい  
 う普通に歩くとききかこびていたからソレの  
 ようにうてもななめ前にしてあるくなどいろいろあり  
 の事を平気で言うので話を聞いて最初に  
 思った事や考えた事は話の内容がグロオスな  
 いう事でした。ぼくが原爆先生の話を聞いて  
 びびりした事は原爆がものすごく熱い  
 いう事です。理由は話を聞く前までぼくは  
 原爆のあつさなど全く知らなくて話を聞くと  
 原爆の中は上空600mにある時100万℃で  
 表面は17000℃もあるといっていました。太  
 陽の表面が6000℃なのに上空600mに太陽  
 よりあつたものがあるという事です。なのでぼ  
 くがびびりした事は原爆がものすごくあつたという事です。



じゅごう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は戦争のことに興味はありましたが原爆のことはあまり知りませんでした。例えば候補になった都市や条件があるのも知らなかった。色々知られて原子爆弾を落としているということも知りました。また原爆での死亡率が40%というのを知りとてもこわいなと思いました。たくさんの方が亡くなり生きのこった人も大きなやけどをしたり転んで亡くなってしまったり今でも原爆症の人がいるということも知り原爆のこわさを改めて感じました。そして軍隊のことも知りました。若い人も軍に入り命をかけて仕事をしそこでたくさんの方が亡くなった人も多くいるということを知りとてもこわいなと思いました。仕事も死んだ人はほとんど焼いたりして、はき気などがあつなからちやっているところかすこいなと思いました。道路を通るときに助けを求め、声がある中それを無視していったりするのとはとてもつらいことだと思っけどなみだを流しなべからる。自分の仕事をしているところがあついなと思いました。言語を聞いて戦争や原爆は

糸色対に  
してはいいな  
なと思っけ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が原爆先生の特別授業を受講して、思ったこと、感じたことは、戦争のさなごくさ、恐ろしさそして爆だんの危険さなど、新たためて戦争の怖さを教えてもらいました。いままで何度も戦争について学んできましたが、今回は、実際に自分達が体験したかのような、すごいとつもなくとりはだの立つお話でした。とくに、原爆先生の話し方がすごくて、1つ1つていねいに話していて、長い時間がたっているのにそれを感じさせなく、話を聞きいらていました。それでも最後のビデオでも言っていたけど、これだけ長い時間戦争のかくさを聞いていたけど、よしろうさん(戦争を実際に体験した人)にしかわからない、本当のつらさというのがありました。私がつらさをわかっていたとしても、それは単なる一部のつらさにしかないので、話しても話してもつたわらない、よしろうさんにしかわからない悲しさがあり、とても悲いお話だと私は思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業を受けて、思ったことは、  
「原子爆弾のおそろしさ」です。まず、国どうし  
の争いで多くの犠牲者をだしてしまっただこと  
を知って、こわいな、と思いました。また、原  
子爆弾は、高温なものであり、川が沸く、こ  
するくらいの温度になっただけで人間を  
想像するだけで、とてもこわかったし、  
そのような人が何万人もいた、と考えると  
ふるえるようにこわいです。  
また、原子爆弾によって亡くなった人は  
5人に2人ということを知って、おそろしい  
兵器だと思いました。広島にある「原爆  
ドーム」の写真を見たことは何回もあり  
ます。そこで、もともとの「広島県産業奨励館」  
を見て、全然違っていると思い、「こんなに  
変わってしまうのか」と思いました。それは人間も  
同じで、話してくださったことで「火傷だら  
け」「黒くこげている」などの言葉が出てきたのでそう思いま  
した。私はこのことを忘れないと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、戦争や原爆の本は見たことはありませんが、  
ですが人が話を聞くことがなかったので、  
改めて戦争や原爆の残酷さや悲惨さ  
を感じました。原爆先生の話が、情景が  
想像でき、その言葉一つ一つが、何度も耳を  
ふさぎたくなりましたが、「向きあわなきゃいけない  
と途中から思ふようになり、必死に耳をかた  
むけました。「助けて下さい」と苦しそうな声で  
言われても助けがれない辛さや、死しゅうなどの  
辛い匂い、誰かの苦しむ声をたくさん聞いてきた  
人が居たから、今の自分があると思うと、  
感謝してもしきれないことだと思ふ、自分の命  
がどれだけありがたいが分かりました。これが  
は「原爆」という恐ろしい兵器があったことそれ  
を人間が作っていたという事実を受け止め、戦  
争の話や原爆の話聞き、その時日本はどうす  
るべきだったのが、世界はどうするべきだったの  
が、戦争の出来事として、亡くなった方を敬いながら  
考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生のお話を聞いて感じたことは、怖い、受けづらく、ひどいことでした。なぜか、いつか人が死んでいくほどのことがあり、もう二度と同じようなことが起きてはならないと原爆先生のお話を聞いて強く感じたからです。またお話を聞いている時もおそろしく足が少しふるえ、言葉を失いました。また原爆先生の言葉の工夫で「本気で原爆のことはダメ」と思っている人だと感じ、自分がなさげなく感じて、いきました。そこでぼくが強く印象に残ったところは、皮がたれ下がっていると聞いた場面と原子爆弾が爆発した所です。本当に原爆が怖いと感じた所です。最後に義三さんが泣きながらお話ししているのを見て言葉を失い、自分まで泣きそうになりました。最後に原爆先生へ、ぼく達に原爆のことをお知っていただき本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受講して、私は少し  
こわくなりました。原爆が落ちて、入る  
のがたおれてたすけきをとめたり、  
ひしでかまんする人がいたことを  
知りました。私は、人々のひし、かおる  
ほかろをたすけきをとめたりすることか  
あー、ほと思いましたが、体があつ  
くはっている人やもう死んでしまった人の  
体をさって移動させようと思ったとき  
もあつと思いました。もし自分かへいたりこん  
た、たう死んでしま。たうをさって  
移動させることもいおたし、原爆外  
落ちて、たうさんの人か外、死んで  
しまったことを思ったときたう  
からです。広島市の2万人かいっしんで  
死んだたり5人に2人か死んでしま  
うときいて私はものすごく、原爆外  
こわいものたうと知りました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/24

・同じ人間同士で、あんなむごい殺し合いが出来ると、いう事にびっくりした。

博物館や遺品だけでは説明できない戦争のむごさを、昔の人々は体験したんだろうな。今では、他人事の様になってしまっている戦争の、熱さや死人の数、実体験した人の日記を見て聞いて、とても身近に感じた。今、日本は戦争をしない、と言ってるけど、いつその平和がゆらぐか分からない。そう思うと、自分がいま当たり前前に思っている「平和」が、ありがたく感じる。

・実際、今ウクライナで戦争をやっているけど、その中でも、第二次世界大戦の時みたいに、何も知らず、ていこうもできないまま死んでいく人も少なくないはずだ。それでも尚、戦争を続けている、という事が恐ろしいと思う。

・私が思う、戦争の中で一番恐ろしいのは、自分が、戦争を止める事ができない、という無力さだ。勝手に国が戦争を始め、勝手に殺される、これほど哀しい事はないと思う。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、戦争を  
したくないと思いました。なぜかという、戦争とい  
うのは無害な人々を巻き込み、無害な人々を殺  
すからです。原爆でも同じように無害な人々が  
14万人もの命をうばい、何十万人もの人が乙  
害に合い、痛い目に合っています。だから私は戦  
争をしたくありません。私は戦争をしていいこと  
はないと思います。それはなぜかというに戦争一顧  
、たとしてもその戦争で亡くな、た人々の命の守  
が勝利して勝を取、る物より大切に重いと思  
うからです。そして殺されて亡くな、てしま、た人々  
は、国が始めた戦争なのに、勝手に戦争に巻き込ま  
れ自分がそうしたいと思、たわけでもないのに苦  
しみ、亡くな、ていく人がおほいおほいと思  
います。もし私がその時代に生きていたのなら  
毎日悲しんでいたと思います。なので私は今後の  
日本は戦争をしな、くしてほしいです。そして昔の日本の  
ように苦しんでいる人を助けられたらいいと思  
います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島<sup>の</sup>原爆については、国語の教科書で読んだり、親に少し聞いたくらいで、自分で調べようと思っただことはありませんでした。けど、今回の授業で原爆について知れたのはもちろん、体験したかのような恐怖もあじわうことが出来ました。

実際に爆発して地面がゆれ、ばたばた人がたおれていく映像を見て、正直「戦争みたいで怖いな〜」という小さな感情しか出ず、戦争の映像などはテレビでたまに見るので、そこまで怖いと思いませんでした。ただ、その原爆を実際に体験した「義三」という人の日記を聞いて、あまりにもリアルで、その光景がうかんでくるようで、心臓の鼓動がどんどん激しくなりました。声で原爆が落ちてくる時の音を表現しながら読んで語り、原爆のときの恐怖を同学年のみんなと体験している、そんな気持ちになりました。

この事件のことを自分の想像や画面越しではなく、実際にこの目で見てみたい。と、話していただいたことを思い出した結果、このような結論に至りました。それだけ情のうつる授業で、これまでにないような体験が出来ました。原爆についても興味を持てた、とても良い機会でした。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、原爆の事はもともと知っていたけど、原爆の時どのような状況だったのかということや、原爆が落とされた後のことは知らなかったから、どうだったのか話を聞いていたとき、被爆による人間の姿ではなくなってしまう人たちがいると聞いて、そこまでのいかにあるのかとおどろきました。また、人間の姿ではない人々を出したのも、人間だ、たということに気づいて、こんなおそろしい事が戦争で昔にも起こる、今も起きているんだと思いました。もし自分が兵隊だったとしても、急にあつくなると、いきとばされたら「ニッリ」人の役にはあまり並とないと思うし、死体の処理などをしたと、トラウマになつて立ちなおれないから、この事を思い出してまで、広めようとするのがすごいと感じました。原爆が落とされた時に、い、しんどくなくなった人もいると聞いて、このような事はもう起こしてほしくないと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9日間と長い期間にわたるような戦争の中で多くの人が生きてきた。悲しんで苦しんでいるのはつらいこと。自分が想像していた人数をはるかに超えていることにとくもおどろきました。それに、戦争というのは大変。というレベルではないけれど、たくさんの兵隊の人が協力し、何かをやるというのを始めて知ったし、こんなにもつらいことを自分だと投げ出してしまうようなことを、それが役目かもしれないけれど本当にすごいと思いました。私達は今こうやって平和に戦争もなく暮らしているけれど、ロシアとウクライナみたいに過去のよう、いつどこで何が起ると、どんな目にあうか分からないので、すごくこわいという気持ちがありますが、本当に何かあるか分からないので、普段の生活、言一日を大切に、そしてくつろぎたいように、これから暮らしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の授業を受けて私は、広島  
原爆がどれだけおそろしいかを  
あらためて知りました。この授業を  
やる前までは、広島原爆とただ  
こわいなとしがあまり思っていま  
せんでした。でも今日原爆先生の  
話を聞いておぼろしく思いました。なぜ  
かというところの皮膚がはがれおろ  
たり、頭から血を流していたりと、聞いて  
私は心の中で皮膚がはがれおろるきい  
たことがない。そう思いました。もし  
私が兵隊だったら、皮膚がはがれお  
ろしている人なんが見たくありません。  
だから私は、原爆があった時の兵隊が  
すごいと思いました。また、広島  
原爆で亡くなった十四万人の人の事  
のことを忘れずにこれからは生  
きていこうと思ひました。そして、広島  
原爆のことをよく知れてよかったです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して戦争のざんくさがさらにわかりました。なぜかというとうでの皮がすりおちていてねんえきがぼたぼたとたれていたというのを聞いて想像しただけで、もともと怖くなったからです。そして原爆の表面の熱さだけでも3000°あって、外にいた人たちがいっしょんで消るのにそのじょうきょうで生きてよしどうさんやほかの人たちはよとてもたごいなと思ったのと、8月6日という真夏で原爆の被害を負い家もなく野ざらしになった私たちはとてむくろしかたたらうなと思いました。なぜかというとも、8月6日の広島にぼくがいたらとても痛みや悲しみでたえきれなかつたらうなと思ったからです。なのでこのようにことはもう世界ではおこしてほしいなと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この特別授業を受けて思ったことは広島に原爆が落とされたのは知っていたけど本当は知らなかったためこのように戦争は二度とくりかえしては行けないことが分かりました。

あと広島市の人口の半分以上が被爆者おとくなると言うのを聞いてすごくショックきました。

それに死亡率が40%で5人に2人もおとられたと言うのにもすごくショックきました。

それに広い河川の水お防火用水の木桶の中へいっていった水がすぐに蒸発してしまうような熱が広島市を覆ってただけ熱いかを想像するとすごく鳥肌がたちます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けて原爆への意識が変わりました。  
また原爆への印象が大きくなって、2つ変わりました。  
1つ目は、恐ろしいです。絵本や文章だと伝わりにくいけれど、  
実際の体馬金言を聞いて、身近に感じたり、それが昔本当  
に起ったことだと感じたりしました。例えば原爆が落ちて  
人が苦しむ生々しい表現、一目見てたくさん人の命が失われた  
ということです。

2つ目は、日本の広島長崎に落ちた原爆が今もあり、  
保有している国がたくさんあるということです。戦争で使用し  
たのはアメリカのみだけど、話を聞いた上でいつでも発射でき  
るということが怖いなと思いました。原爆は熱風、衝撃波  
放射線の三つがあるところから根拠に思いました。  
核爆弾の原子力爆弾はこの体馬金言から一度と使用  
してはいけないと思いました。原爆が落ちるといふ  
ことがないような核のことについて調べたいです。また  
原爆のない平和で暮らしたい世界をつくるにも  
保有することと禁じる必要があると思います。原  
爆をなくすためにも特別授業のことを伝えたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

2/24

今日の原爆先生の特別授業をうけてふだんきいているパトカーの音が戦争の音に聞こえてビックリした、最初の10分の動画のときに風の音や銃の音や爆音の音を自分で聴いてわがりがすかったしきいていて頭の中にはいってききやすかったです。次のじぶんではよくいこうに話をきいているおいたにどんどんじぶんがそこにいるかのように、そこで自分がたいけんしている感じにそこにすいてまわっていくようにどんどんききやすくなっていろいろいろいろかんがえながらかきももう休憩する時間がきておととおろまでそのところにいるようにおそえて話をきくかんじでした。とても楽しいじぶんだったと思いました。帰ったらお母さんやお父さんには伝えようと思いました。いろいろその戦争の話を聞いてじぶんをうけてよかったですとおもいました。原爆リトルボイのじぶんをおちたかやどまでおちたかやどまではくはったかなどくわしくきいてちよときょうみをもっていました。また資料を見ているのかどうゆうものかみたりできるのでそこもすこし資料まであるんだと思いました。また楽しくその話を聞いてくれるのでたのしかったです。みなさんきいてみてくださいますように。とても楽しかったです。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今まで原爆のことをあまり知りませんでしたが、話を聞いてとてもつらくて、苦しくて、もう二度と起きてほしくないなと思いました。候補の都市はその日の天候で決めたり、もしその中に、自分たちが住んでいるところがあったらものすごく悪かったり、その時の人たちは原爆がどういうものなのかとか、どのくらいの衝撃があるのかなど、いつ来るのかも分からない中で、建物にかくれても被爆者数 24万人の内死者数 14万人ということがとてもつらいなと思いました。原爆が落ちてすぐに、衝撃波などで死んでしまった方もいたり、今も原爆症などで苦しんでいる人もいたり、太陽の表面温度が6000℃に達して、原爆は7000℃でどんなものが想像すると原爆がどんなにすごいものなのかよく分かるものだと思います。広い河川が真っ赤な死体に埋め尽くされていたり、死体の一体一体を運んで重油をかけて焼却していたり、自分だったら絶対死なな事だと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは話を聞いて受文めて戦争の悲  
 しみを感じました。よしろうさんの話で  
 「見るだけでは戦争の恐しさは分かり  
 ない」と言うところを感じました。ぼくは  
 戦争で人々がくたされて人々をいかに  
 辛い気持ちか想像できません。なぜ  
 色々な兵隊や政府や軍隊が色々な  
 人々に何もしてないのに人々に殺さ  
 れるらしいと思っただけです。ぼくは  
 二つ考え人々の国民の一人一人の命を  
 軽々と殺し悲しくなりました。  
 二つからぼくは戦争はしてはいけない  
 いや絶対二度と起してはいけないな  
 りと思ひました。また「キャー！！」  
 といった時ぼくはただの12mぐさの  
 のぼくだんを落された10秒間で10万人  
 以上の国民の命をうばい無念だろ  
 うと思いました。戦争の恐しさは  
 現実で見たんだけだと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して  
義三さんのきれいすぎるという言葉が  
とても印象に残りました。

なぜなら、私は話を聞いていてきれいす  
ぎるとは思わなかったと義三さんの言葉  
を聞いて実際はとつたらたのかがその  
言だけで感じられたからです。

私は、今日義三さんのよたけがさしていなく  
ても後遺症が20年以上も残っている人もい  
るということを知りました。

また、温度が太陽よりも高いということや  
衝撃波が音速よりも速いということを知  
るとどんなことがあったのかをくわしく知ることが  
できたと思います。

今日の特別授業で私は戦争を体験して  
いる人としていない人では感じかたがら  
かうということが分かりました。

また、もと戦争について知っておかないとい  
けないなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、戦争の話を聞いてあらためて戦争、てこわいなあと思いました。私はふだん戦争のことはあまり考えたりはしません。ですが今回の話を聞いて、いかに戦争がおそろしく、こわいことなのかがわかりました。私は特に戦争の原爆によつてひふがただれてしまっている人や大火傷を負ってしまっている人の話が印象に残っています。「ひふがただれる」、「大火傷を負う」これらはまずまちがえなくふつうに暮らしていたらありえないことです。当たり前のように思えて、当たり前じゃない、そう感じました。昨日までいっしょにいた人も、戦争によりいなくなる...これがどれほどつらいことで、苦しいことなのか、私は話を聞くだけでは分かりません。ひふがただれ、大火傷を負うことがどれだけ痛いのが私は体験したことがないので分かりません。この戦争でせくなつてしまった人たちのためにも今日聞いたことは絶対に忘れません。毎日が当たり前ではない...このことを忘れないうでいようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

その戦争もまた中の子供をお話とわりのため、  
 この原爆があつてきついな事といふのが  
 ともいふふうてきた。

池田さんの実話も原爆先生が  
 きいて こんど長く お話といふ

ことは悲惨な話なんだなとわかった。  
 とい原爆の様子をいふとて  
 附近に聞けられた。  
 思ったこと

原爆などの被害を目の前で見て  
 生の声か人のこゝろなどを聞いた事下  
 一部のこゝろしかきいてないのにどうし  
 じつは残酷な、お話をわがらした。  
 秋平のこゝろで改めてきついな事下いかに  
 今の素晴らしいものかた、と思つた。  
 とい学んだことをたゞ人のこゝろに  
 伝へて、秋平のこゝろと近づい  
 たらなと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

前々から戦争は絶対に2度とくりかえしてはいけない恐ろしいものだと分かっていたつもりだったけど、今日実際に原爆先生の授業を受けて恐ろしいなんて言葉だけでは表せないそのなんと実感した。自分は先生の話や映像、画像を見たり聞いただけでかなり怖かったから、現場にいた人からしたら生きているのが嫌になつたと思うし、よく原爆直後の悲惨な状況の中でも正気を保って処置できたと尊敬に近い感情を持ちました。自分を含めて全ての人が進んで戦争はしたくないと思っているはずでも戦争が終わることとはまだにないであだから自分はこれから世界が戦争のない平和な世界になるように積極的にお互いの国や地域の文化、特徴を共有して分かち合えるようになってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆で多くの犠牲者が出たことしか  
知っておらず、実際にあった細かい内容は  
初めて知り、とてもおどろきました。外国の  
飛行機が飛んできて、原子爆弾が落とさ  
れて、どう流れる映像も初めて見ました。ま  
た、もしここに私がいたら、と思うと恐ろしくて  
たまりません。被害にあたら、自分はどうなるん  
だろうとは考えたこともなかった。それで、つい  
で考える良い機会となりました。逆に、自分が  
助ける側だとしても、自分は恐怖で何もでき  
ないと思います。被害にあた、人じゃないような人を見  
たら、逃げ出したくなると思います。今は、多くの  
ものが発展している世の中、戦争を経験して  
いない人が多い時代だと思つので、こうして実  
際に聞けて良かったです。なせなら、この授業を  
聞かなかつたらず、とその恐怖を知らず生きてい  
くことになり、何かあっても何もできずに終わって  
しまうと思、たからです。これからは、このような場合が  
これかなくとも「もしの場合」を考えて生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

あんなに小さいばくだんだ。たのに何十万人もの県内に住んでいない人も被害を受ける程影響がすさまじく大きく、そして恐ろしいものだということが初めて分かった。普段私達があついと思っている温度や火傷する温度の60倍以上の熱で何も罪のない人達が亡くなられてしまったり、その分嫌な思い、苦しい思い、どうしようにもならない声にもならない思いをして精神的にも、肉体的にも苦しんだ人が多かた。(多すぎた)

今まで私はげんげくと戦争はあまり関係ないと思っていたし、げんげくは当たらなくて、くらい雨も飲まなければ生きることができると思っていたが、ちがった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/24

最初のドラム缶の所で爆心地から2キロも  
離れた所で重油はっばいのドラム缶のうしろでも  
十メートルも吹き飛ばされてそれで引火しなかった  
ことセトラックが壊れた事で生き残った死と  
統一重たった事におどろいて爆心地の調査  
や消火などへ行く時の道であんなに恐怖を  
味わったのに軍の命令 前から進むメタルに  
おどろいてそれを生きぬいた人達のおどろいて  
爆心地での作業が炭の塊の人間に見える。想像  
を絶する物を何時間、何日も繰り返して  
僕自身原爆資料館に行ったのですが知らない事  
がたまたまあって資料館でも怖かったのに  
義三さんは実際の経験とは比べ物にならないと  
言っていてとても驚いてこのような劇畫で残酷な様  
が戦争が二度と起らないようにともう一度深  
思いました



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までは広島原爆と聞いた時「強い爆たん  
が落ちて大変なことになった。」ということしか知り  
ませんでした。ですが原爆先生の授業を聞き、本  
当の原爆のおそろしさを知りました。被爆した  
人々を皮エがただれ落ち酷い時には人間の  
姿をとどめていないほどになってしまう。そして  
原爆の爆破中心点の温度は100万℃、まわりの温度  
は7000℃にも達するといった具体的な被害を  
話していただき、大きな衝撃を受けました。  
このお話を聞き、言葉では伝えきれないほど凄惨な  
被害だったと知りました。もう二度とこのような  
過ちを起さないように今も日本がかかっている  
非核三原則などのきまりを守ることがなければ  
いけないと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ほか、一番衝撃を受けた事は、広島の大空を舞った時の  
 被爆者<sup>あき</sup>と死者数でした。24万人という多くの  
 命が被害を受け、14万人が死ぬ、という事実に、  
 おどろきかきまわっていました。そして、改めて戦争の  
 怖さを実感しました。死と向き合っただけで、仕事を  
 して生活していく、戦争の怖さを、私は心に留めて  
 いると思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私はこの授業を通して一番印象に残っていることは、死亡率が40%ときいたことです。私は40%ときいてそれだけ激しい戦争だったんだと思いました。今まで第二次世界大戦のことを全く知らず考えたこともなかったのに、色々くわしく知れてとてもいい学習でした。改めて戦争はなぜ起こるのか、もし戦争をやらなければ14万人の命(第二次世界大戦で広島で亡くなった人)は助かっていた。そう考えるととてもおそろしいことに思えます。なんらかの原因で関係ない人の命がうばわれる。私は早く戦争がなくなってほしいが、いつなくなるか分からない。なくならない可能性だ。てある。けどなんにんもの命が亡くなるから私が戦争をやめてほしいという願いはかわらない。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

最初の私は原爆をあまり怖いと感じたことが無かった。

原爆先生の話は私の想像していたものよりはるかに

こわかった。先生が爆破の音を再現した時は怖す

ぎでそのあとの記憶がないくらいだった。私はパニック

状態で終わったけど、爆心地で音を聞いていた人

の気持ちを見ると、パニックでは終われなかったと思う。

でも教科書に書いてある物よりも先生の話を

聞いた後の方が本当に戦争について学習したという

実感があった。「戦争は怖い」という考えで終わらせ

てはいけないと感じ。またこの本当の事をこれから生きて

いく人たちに伝えていける人になりたいと思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この授業を受ける前までは、広島に原爆が落ちて被爆者が多くいた程度の認識でした。でも自分が想像していたことより、大きな被害があったことを改めてよく知ることができました。被爆者が顔をやけどしてしまったり、体全身がやけどして、ているところを自分自身が見てしまったりするほど怖くて、作業ができなくなってしまうと思いました。でもそこに立ち向かっていた兵隊の方々は、勇気や国民の命を守りたいと気持ちや誰よりもあつたんだなと感じました。自分は原爆を経験したことがないので、今まで大変さが分からなかったし、身近に感じるくことはありませんでした。でもこの授業を受けて、実際に原爆に関わった方々の思い、広島そのときの状況などがよく知ることができました。今まで身近に感じなかった原爆のことを深く考えることができたのでよかったです。



## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

まず最初に思ったことは知っているつもりだけで本当のことをぜんぜんしていなかったということを知り知らされました。被爆した人たちが広島の人工の70%の約24万人そしてその中で亡くなった人が14万人と書いてびっくりしました。そして亡くなった人は一瞬で消えてしまったり、苦しんで苦しんでもがいたはてに亡くなったという話を聞いて、今みたいに苦しまずにおびえずに普通に暮らしているだけで幸せだということを実感することができました。

また実際に爆心地に行った人の話していることを聞いただけなのに、見たわけでもないのに、その人の感情を知ることができた。もし私が兵隊さんでこの現場に行くと死体を処理しろと言われてたら恐怖でふるえてまともに動くこともできないだろうと思います。また大火傷を負った人がななめ前に手をのばしふらふらと歩いて助けて...トラックに乗せて...と書いてもトラックにのせようと手をのばす勇気はありません。こわい気持ちをおさえて手をのばし助けようとした義三さんの勇気や正義感はずいぶんの一言では表せないほどすばらしいと感じました。今日、原爆のことについてくわしく知って自分だけでなくまわりの人にも知ってもらえたらいいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

歴史の授業には細かく表現せなかった。被爆者達の苦しみをあらゆる形で知った。被爆者のたくさん苦しみを聞いて、感心も何もしてあげられず、苦しみ姿をただ見るしかない状態だった兵隊さんも同じ程の苦しみがあつただろうと感じた。兵隊の人は死体を見て何度も苦しい気持ちで助けをあげられずぐちゃい気持ちもある中、人間とは思えない見た目に毛の怖れも抱いていたと思う。熱線 しょうげき 破、放射線で多くの人が被害にあつた度、生き残っている人も苦しんでいたと思う。兵隊さんの父親が「毛がする」と人形を見て言ったのは、人形は本物(実物)とは全く違うという意味がこめられていると思う。被爆者達、兵隊さんの苦しみはそのときに居た人だけしかそっくりそのままにあらわせないのだということを感じた。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が宇野とんぼと名乗ったこと、知ることが出来た授下した国や、授下された後どんなことがおきたかなどを知らなかつたです。それと、広島と長崎に落とされたことは知っているけれど、他にも小倉、横浜、新潟、京都にも候補にたっていたことも知らなかつたです。

・原爆に関して、温度が中心は100℃、外が約7000℃とあり、太陽よりも熱いことや、衝撃波があり、毎秒440mのスピードがあり、音を聞かずに、原爆雲は、火暴音の火雲だと思っていたけれど、熱い雲が上昇しているものを知ることが出来ました。それに、原爆に当たると、広島の人々の死亡率が40%、被爆率が70%もあるなんて、多岐に感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島の見学会みたいのも見ましたが、  
手がななめ下(前)にスクリーンとあるとい  
ふ(も型)のやつ見て、あれで何も感  
じない広島におとされたときのお父  
さんを見て本当の原爆はアノような  
ものではなく、地獄の世界だ、たんだ  
見るだけで周りも目がしるもあつくな、ていく  
苦しそのものだ。たんだなと思ひ  
ます。人がコンクリートに黒いもので  
残る。自身は消し去られる。きょうふ、  
を感じるひまもなく亡くなる。  
最悪の亡くなり方がというぐうい  
無様な現実。しかもそれが2万人。  
泣きも、感情さえもないひどいなんて  
もんじゃないと思ひます。  
小さな太陽が実際に落ちてきて自分を  
守れたり、人を救えたりせず、人なごもを  
考へる人やぼくはいないと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島は原爆や戦争は、自分の世界とは  
 かけはなれた事だと思っていました。い  
 くら本を読んでもあまり実感、か  
 わかなくて、でも今日話を聞いて、  
 なんで被爆したのか、広島と長崎なの  
 がどうやって爆心、土までおとしたの  
 が色々な事実を知って本当に原爆  
 はおちて人々からたくさんのものをうは  
 ったんだなとおもいました。だから  
 今日聞いて学んだことを軽くすませ  
 るのではなく心にととめておきたい  
 とおもいました。いつも何げない  
 おもっているこの生活も昔こういう  
 ことがあったからあるんだという  
 事をまたにんじまできたので、今日当  
 に聞いてよかったとおもいました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今までは、首広島でアメリカが  
 爆弾をおとして来たんだな  
 というくらいでの印象だったけど  
 今日の授業を受けて当時の  
 しょうごうさんのように、みんなの心  
 兵隊さんたちの苦衷をたくさん知ること  
 を知ることができてよかったです。  
 アメリカが被害が大きくなるころに  
 おとそうとしたり広島以外のところ  
 におとしたことがかたまりと思いはくた。  
 原爆が4つということも原爆のしく  
 みを知っておとうました。  
 自分がこの時の人だったらと考えたら  
 必ず死んでしまうなと考えながら  
 その当時の様子をたくさん知ることが  
 できてよかったです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

この授業を受ける前から、原爆のことは聞いたことはありました。黙祷もしていました。ひどいすがたになったことなども、一応理解はしていました。でも、戦争などのことを授業で習っても、分からないことはたくさんありました。

今回、実際に体験した方の日記をもとに話を聞いて、とても辛い現実だなて思いました。人を殺すためのミサイルだなんて、どうして人は打つんだらう、とも思いました。みんな同じ人間で、同じ生き物なのに、被爆者の気持ちやそのときのことを考えると、おそろしくて、考えたくもなくなります。でも、これが事実だという現実には忘れられないようにします。

将来、今の私達が大人になったら、私達の世代が世の中をつくります。そのときは、原爆の事実を、しっかりと伝えて、残していきたいです。

今回は、貴重な体験を本当にありがとうございました。これからも、感謝や現実を忘れずに生きていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

- ・単戈争の本物マンガは読んだことがあっても、動画を見たことは、一度もありませんでした。だけど今回の学習で、またさらに、戦争をしないといけないという気持ちが強くなりました。
- ・トラックに人を乗せようとした時に、人の肌がはがれた事を聞いて、戦争の悲惨さと、二度とやらないといけないということ、60年前の日本でこんなことが起きていたことに、とても驚きました。
- ・原爆の恐ろしさ作りどのように落ちたのかが良く分かりました。もしも京都に原爆が落ちていたら、日本の大事な歴史がほとんど無くなっていたんだろうと思いました。
- ・戦争が終わっても、原爆症に苦しんでいることを知り、戦争の苦しみは、終戦後も長く続くととても恐怖を感じました。
- ・今もロシアとウクライナが戦争をしているので、早く終わればいいなと思うし、この戦争の恐ろしさは、未来の日本の教訓にしたいと思いました。
- ・戦争は二度とやらないということがとても良く分かりました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、初めて原爆の授業で「恐怖」を知りました。原爆があたこと、は聞いたことがあります。恐怖は知りませんでした。原爆を受けた人の気持ち、見た人の気持ち、欠怪我をした人の痛みをよりリアルに表現された話、動画、絵で怖さ、苦しさ、苦痛がすごく感じました。感じすぎて怖かったです。

とくに一番印象深いのはトラックに乗っているとき手をたらんと、ななめ前を出して「兵隊さん... 助けて」「... 助けて」と言っで助けを求める人々に手をさしのべて、手をあわせてい。はるうとしたら、手の皮の肉や皮ふが、たら。と落ちる所です。現実らしくない。現実で信じられないし、痛々しすぎて、みえられないからです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/24

「まず、通常は21歳までは軍に加入するとはおどろきました。つまりそれだけ当時の日本が戦争に力を入れていたんだと、このことを考えさせられました。

そして、原子爆弾投下都市の条件や、原子爆弾の投下目標地など細かるところまで計画するアメリカに対して自分は、そこにまでして何の価値があるのだろうかという疑問に思いました。人と人との小さなむねごとから大きな戦争につながる多くの人の幸せをうばう。自分はそんなことを考え恐怖に感じました。

「冷戦ロシアとウクライナの戦争が激しくなり、三度目の世界大戦になってしまうのでは?」とも言われているとニュースで見ました。専門家たちの間ではもし第三次世界大戦になったら、人だけでなく、歴史ある文化までなくなってしまうと言われているそうです。自分はそんな今の世界情勢を見ていて、世界は争いにはうしろ向きであり、結局は自分勝手に争いをさせて多くの人の命をうばって、何も変わっていないと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

原爆先生のことは前から知っていたが、原爆先生の講話  
により、戦争や原爆の恐怖を学ぶことが  
できました。自分は原爆先生の講話を聞く前は、  
原爆を広島に落とすのはいい物か、悪かた  
くらいしか知りませんでした。しかし原爆先生の講話を  
聞いてるうちに原型をどめてないと言う原爆先生の、  
講話の内容がずいぶんリアルに恐怖などの感情が  
入り知れました。2時間もの貴重な時間を自分たち  
6年生に話ししていただき感謝いたします。そしてこの  
話しをちがう人たちにも話ししてほしいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕が一番印象に残っているのは原爆が  
 ばく発した直後に直径200mの光と熱の  
 かたまりが空にできたことだ。なぜならその  
 円の一番外がわでも7000℃より太陽の  
 平面温度より高く人たちに熱が届いた時に  
 は、3000℃もあり、僕の予想よりもはるかに温  
 度が高かったから。また、普通に考えたら一瞬で  
 川の水が蒸発することが多いと思った。もし消えるの  
 ならはすごい熱量が必要になるのかまたそれ  
 をつくり出すのは何をどうかきになった  
 からか。

意外とおどろいたのは、アメリカが原爆を落とす  
 時落とす場所や爆心地からどのくらい  
 はなして落とせばいいかを考えていたこと。  
 なぜなら落とす場所の候補にあった「京者屋」という  
 字を見たら僕たちたら盆地で被害が出やす  
 かったり火が木にうつたりしていいかなと僕は  
 思ったがアメリカは、昔の文化財など人にとって  
 大切なものがあつから落とさないという発想が

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

僕にはなしてアメリカは、二のよな発想があつたことが  
おどろいた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

・兵隊や一般市民が「7000度の光を  
つけて天間ではなくなっている」と  
いうところがじんわりきた。

・もしぼくが「そのとき広島にいたら  
死亡していたかもしれない。

なんせ五人に二人が「なくなる」とい  
うことはこのグラスで約十四人も  
をくたつてたかもしれないから  
十人から。

・兵隊さんは戦かうた「ナ」でなく  
人を且かけたリ、人を火着い  
たりするので大変だなと  
思った。

・あらためて核のおそろしさに気  
づいた。もっと世界では核を  
とりしめる運動をしてほしい。

また核をつか「い」つ「つ」けたら  
世界が「あ」ぶ「ない」ことになっ「し」まう。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕たちのような若い世代は、戦争の実際の苦しみを  
 知りませんが、今日特別授業を受けてみて原火暴  
 の苦しみや怖さをくわしく矢張りすることができてとても  
 良い授業になりました。僕は戦争の歴史など  
 は、知っていましたけれど戦争の苦しみはあまり分かって  
 いませんでした、だけど今日の授業のおかげで色々な  
 苦しみを分かりました。息絶えた人はもちろん死ぬのが  
 怖くて悲しかっただろうし、奇跡的に生き残れた人々だって  
 このあとの悲惨さを矢張りとても悲しかったと思う。  
 原火暴を落とす側も人が何万人もの命をうばうと考えた  
 だけで怖かったんじゃないかと思う。原爆を落として、まったく  
 とは言えないがあまり良いことはないと思いました。  
 実際にその場を見た人の話や原子爆弾のくわしい  
 話を聞いてとても良い知恵になりました。  
 戦争の歴史や苦しみを矢張り後世に伝え続ける  
 ことが大切だと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

人のはたや肉が真赤に焼けただれしている様子と  
 聞いて、本当にこわがたです。今までテレビのニュース  
 などで原爆のことをきいたことはありましたが  
 今回の授業では、実際に経験したことをその場  
 できいたため、情景が生々しくあたまたうかんで、  
 今までに感じたことがないくらいに、ぞとしました。  
 原爆の威力やいつ落ちたものなのかはわかって  
 本当にその場にいらなかった人には経験した人の苦しみ、  
 痛みはわからない話を聞くだけでもあんなにこわい  
 のに、現場の人はこわいと感じる間もなくただ苦しんで  
 死んでしまふ。原爆や戦争は本当に恐ろしいことだと実感して、  
 今、日本が平和であることに心から感謝しています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島原爆はなんとなく知っているというだけで、あまり興味という気持ちになかったし、大変だったかなという浅い考えの中生活していたから、原爆が怖いとか恐ろしいという感情をいたかなかった。でも言話を聞いてみれば、苦しんでもかきながら助けを求めている、そんな必死な状況だったのだと知った。自分がその状況下にいたら私も絶対、救済を求めたいと思う。そして、原爆の威力を知った時、周りの人の苦しさも伝ってきたいという気持ちになった。原爆の表面温度が太陽(6000℃)より熱いと知り、川の水が一瞬で乾き、人々が川の中や水がある所へとひこんだのを知ると、地上がとても熱くなっていることが分かり、すごく辛くなった。特に人間の皮膚がはがれたりしているを知ったときは、怖くなった。ホロホロになって、はがれていく皮膚のことは自分でも見たくないし、自分のことが恐ろしくなると思う。でも、たとえ知らないうちに、せっかくの大切な機会を聞き逃したりするし昔あった出来事を新たな時代に断つことは大事だから、聞けてよかったと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の映像を見たり、話を聞いたりして私は今の時代に生きているから戦争の事をよく知らなくて考えた事もありませんでしたが、この授業を通して戦争の怖さ、おそろしさ、苦しみ、痛さなど想像したり、考える事が出来ました。しかし、最後のよしぞうさんの父が言っていた「守れいさがる」という言葉は戦争の時代に生きていた人の模型よりもその所に行った人達の方がもっとひどいという意味だと思ひ、私が想像した戦争は大した事ではないと思ひました。広島の人達は5人に1人原爆で亡くなられたと思うと本当にたくさんの方が苦しみなから命をうばわれしまったなと感じました。経験者しか分からない戦争の苦しみを知らず戦争は絶対にあてはならない事だと思ひました。兵隊の人達も助けなければいけないのに怖さで「ほ」うせんとながめてしまうのは、私もそこにいたら何もできないと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆が落とされたのは広島・長崎であるがアメリカの偉い人々が特に推していたのは京都であることを知った。京都は四方を山に囲まれ、碁盤のように家が建ち、原子爆弾で街をほぼ壊すのに好都合であった。しかし京都は古い都であり、人間にとっても貴重で重要な文化財がたくさんあった。だから、アメリカ人の思いやりの心で日本人の感情を考慮し、原子爆弾で重要な文化財を燃やして壊してはいけないと判断し、京都は破壊補から外された。私はこのことから、日本の敵アメリカでも戦争中に日本人を思いやる点で人間の心の醜い部分にも美しい部分が秘めていることを実感した。また爆心地では3~4000°Cに及ぶ熱線が体中に当たり、体中の水分が蒸発して人間が炭のかけらのような状態になったことを知った。義三も軍の命令で田町の炭を消す比になれたとき御幸橋から先の実景が一変し、広島の手前は真赤に燃え盛っていたところを目のあたりにした。そんなところからの人々の様子も人間らしき人という姿になり、男女も区別で無い無惨な状態の人ばかりで義三も辛い思いになったと思う。しかし、それでも遺体の始末としっかりと行い、亡くなった方の気持ちも理解してあげて慰めになるにがんばりなと思った。私であつたらでさながらであつたことを50歳しか達う人ができるのが不思議だと思った。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講してまず一番印象に残っているのは、被爆者はみな大やけどをし、皮膚がはがれ落ち肉や骨が見えていて「人間だけと人間じゃない」という話しが一番心に残っています。なぜなら、それは想像できないことで、見た人、経験した人にしか分からないし、考えただけでも苦しくなってしまうからです。

それに、このような事は今の日本では起きないし、絶対に、起きてはならない事だと思います。

そして、広島の実験資料館で模型を見て、「きれいすぎる」と、たった一言をはなした。と話しかけていて、その意味を考えたとき、その模型は、その時被爆した人にしか分からない、模型では表せないほど、残酷で、生々しい風景だ。たのたなと思いました。広島や長崎の原爆の事は、少しは知っていたけど、実際話して初めて聞いて、戦争の話は、残酷で怖いけど、絶対にみんなが知っているべき事で、世界では今、戦争をしていて苦しんでいる人がいるので、そんな戦争は、今すぐやめるべきだ」と、強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は昔からおそろしいものということは知っていたが、原爆が上昇気流まで起こすほどにすごい力ということには考へておらずどれだけあつてはならないものなのかを感じることができた。アメリカが原爆を落とすに決まっていたことは知っていたが、原爆を落とす対象所を広島や長崎以外に小倉、横浜、新潟、京都の候補が作られていたその中でも京都が一番早まるといふ結果が分かりやすいもの人間にとっての文化財があるためその候補には入れなかったこと、投下都市の条件は直径5kmを超えていて平野部であること、空襲がこれまでになかったことなどをこまめにアメリカが考へていたことにおどろいた。広島県に原爆が落とされたときに人口の約70%の人たちが被爆を受けちゃっていることに対してどれだけ原爆がすごいものであるのかを感じるきっかけとなった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

私が、原爆先生の授業の中で、一番印象に残ったことは、よし三さんたちが出会った原爆の被害者の方々についてです。今では考えられないほどの、心が苦しくなるような姿を想像するだけで、戦争のみじめさや、苦しさが心がいっはいになりました。人間とは言えないような姿の人々が、たくさんいるということは、見るにたえないことだったのだろうと、心から感じました。同じ人間なのに、勝敗を決めたいがために多くの人をぎせいにしてしまう「戦争」は、恐しく、みじめで、苦しいものだと実感しました。だからこそ、私たちは二度と戦争を引き起こしてはいけないのだ、未来を生きる後世に戦争を忘れさせてはいけないのだと思いました。今後は、私たちが日本の社会を支える番となるので、未来でも戦争が起こらず平和な生活になるように、戦争を二度としないよう支えていきたいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日、原爆先生の授業を受ける前は原爆についてあまり詳しくありませんでした。知りていたのは原爆がいつ落とされたか、どこに落とされたのか、たれが落としたのか、たれが開発したのかというような、とても抽象的なことでした。

しかし、今回の授業では現場の惨状や、原爆の熱や衝撃波、放射能など、原爆のいかに詳しい死者被爆者の数などより具体的に学びました。昔の画像も見、その時の様子も知ることで「まじました。原爆を経験していない私でも思わずゾッとするような事実でした。また、丁寧に人が感情を込めて語ることで当時の人々の気持ちも少しは伝わり、知識だけではないものも写真に入ったような感じがします。

今回の授業で原爆についてより理解が深まりました。と同時に、もっと原爆について知りたという気持ちもわいてきました。これから、図書館で原爆についての本を読みたり、映像をみたりして、原爆についてもっと知りたいです。この世には原爆のような悪魔の兵器があり、それを執る人間が持つというのを心に留めおきたいです。